

Y.Hamano



2019年5月7日生 牡 鹿毛  
 父ハーツクライ  
 母ダストアンドダイヤモンド(父Vindication)  
 馬主/株キーファーズ  
 調教師/友道康夫(栗東)  
 生産牧場/ノーザンファーム  
 通算成績/15戦6勝(うち海外4戦0勝)  
 総取得賞金/10億4965万9800円  
 主な勝ち鞍/  
 23有馬記念(G I)  
 22日本ダービー(G I)  
 21朝日杯フューチュリティS(G I)  
 23京都記念(G II)  
 馬名の由来/する+テニス用語(勝利目前の  
 意味)

※成績等は2024年8月13日現在のもの

## 年代別・性別ランキング

10代から  
高評価を受ける

● 10代……8位	● 60代……47位
● 20代……10位	● 70代……54位
● 30代……17位	● 男性……21位
● 40代……29位	● 女性……18位
● 50代……42位	

## Voter's Voice

まだまだドラマを作っていく競走馬なので、これからも引退を迎えるその日まで応援し続けます!(40代・男性)●鞍上初の朝日杯、レコードのダービー、泣かされた凱旋門賞、復活の有馬記念。ここまで酸いも甘いも味わった名馬はなかなかいないと思います。だからこそずっと追いたくなる、そんな馬です(20代・女性)●武豊騎手とのコンビで、ドラマチックで感動的なレースは心を揺さぶられました(30代・女性)

「何かをやってくれそう」  
そんな雰囲気に応じてくれる

現役のドウデュースが18位に選ばれた。イクイノックスにクビ差競り勝った2022年の日本ダービー、3コーナーすぎからのまくりが鮮やかに決まった23年の有馬記念。強烈な印象がフアンの脳裏に残っているのだろう。何かをやってくれそうなお雰囲気を、

第 **18** 位 名手とともに挑み続ける  
**ドウデュース**  
 7921 P  
 NEW

ドウデュースはまもっている。21年12月、朝日杯フューチュリティSに出走した。コンビを組むのは武豊騎手だ。朝日杯フューチュリティSには競馬界の七不思議ともいわれるジンクスがあった。レジェンド武豊騎手が勝っていない数少ないGIレースだった。それまで2着は5回あったが、なぜか0勝。22回目の挑戦となったこの年、ドウデュースは中団から鮮やかに差し切り、レジェンドに初優勝をもたらした。

22年の日本ダービーも会心のレースだった。ハイペースで流れる展開を後方で見据え、最後の直線で末脚を爆発させた。迫るイクイノックスをクビ差抑えて優勝した。芝2400メートルの優勝タイムは2分21秒9。ダービーで初めて2分21秒台が記録された瞬間だった。23年の有馬記念で見せたパフォーマンソも素晴らしかった。2周目3コーナー手前からスタートを開始すると、逃げるタイトルホルダーを競り落とし、並びかけるスターズオンアースを寄せ付けず、先頭でゴールした。

朝日杯フューチュリティS、日本ダービー、有馬記念。優勝したGIの共通点がある。3レースとも2番人気、3番人気というチャレンジャーの立場だった。皐月賞と宝塚記念。敗れたGIは1番人気になっていた。ドウデュースはライバルに立ち向かっていってこそ真価を発揮するタイプなのだ。